「そらゆき」をたくさん穫るにはこうして作る！
～水稲品種「そらゆき」の多収栽培指針～

概　要 Abstract

適切な栽培管理でがっちり！！

「そらゆき」は収量性に優れる品種です。

ただし、倒伏による減収リスクが大きいため、十分な収量を得るには適切な施肥管理を行い、適正な生育量を確保することが重要です。

そこで「そらゆき」の安定生産を目的に、生育指標と栽培管理方法をまとめた**「そらゆき」の多収栽培指針**（右表）を作成しました。

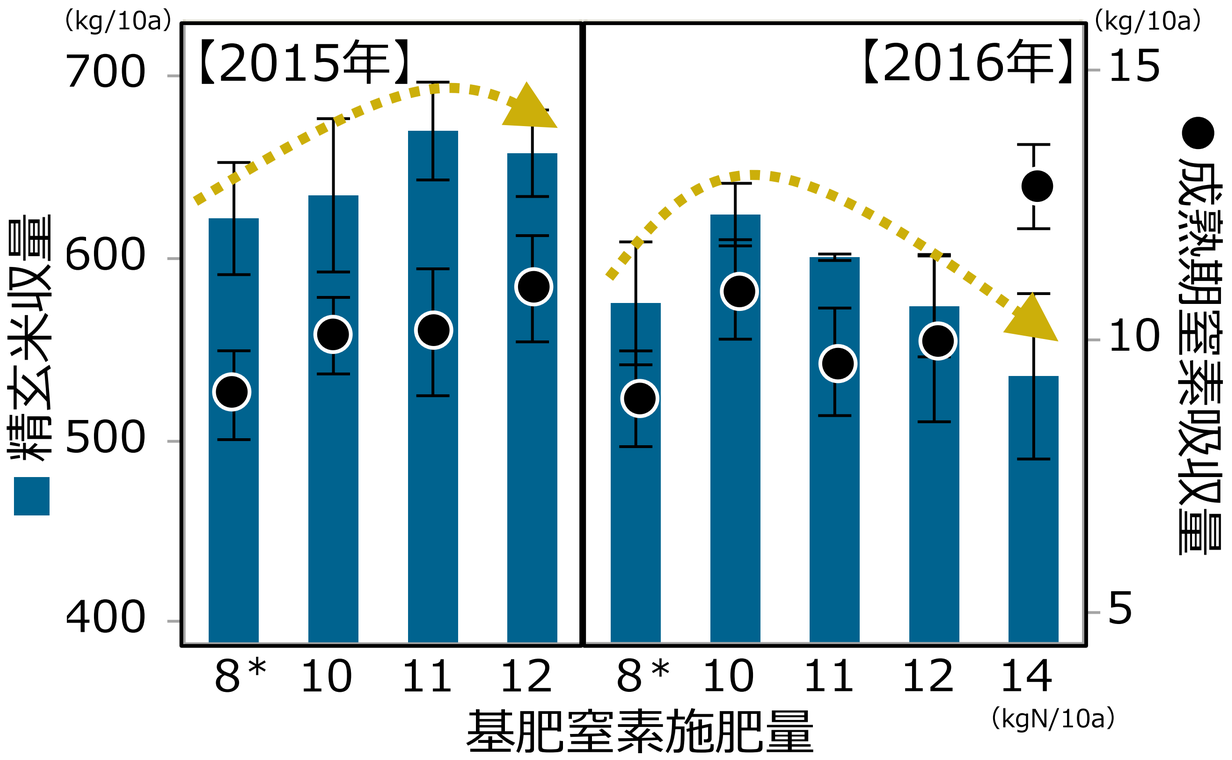
また、初期生育を促進する従来の基本技術を併せて実施することが大切です。

表　「そらゆき」の多収栽培指針（抜粋）

生育指標	目標収量		**650kg/10a**
	苗		**苗長の機械移植基準**[1]を守る
	本田生育		**総籾数3.5万粒/㎡,穂数700本/㎡,成熟期窒素吸収量11kg/10a**
栽培管理	基肥	窒素施肥量	**施肥標準量**[2]**+3kgN/10a**を上限
		側条施肥	初期生育が不良な地帯・土壌で推奨
	幼形期[3]窒素追肥		**①幼形期茎数500本/㎡,** ②窒素分追肥対応の土壌診断値[2] ①と②を下回る場合に幼形期窒素追肥2kgN/10aが可能
	移植様式		機械移植基準に従う
	倒伏対策[4]		**止葉期：草丈70cm以上かつ茎数800本/㎡以上（出穂期：草丈90cm以上かつ茎数750本/㎡以上）**に達すると倒伏の危険性が高い
	収穫適期		**出穂期後日平均気温積算値1100℃**

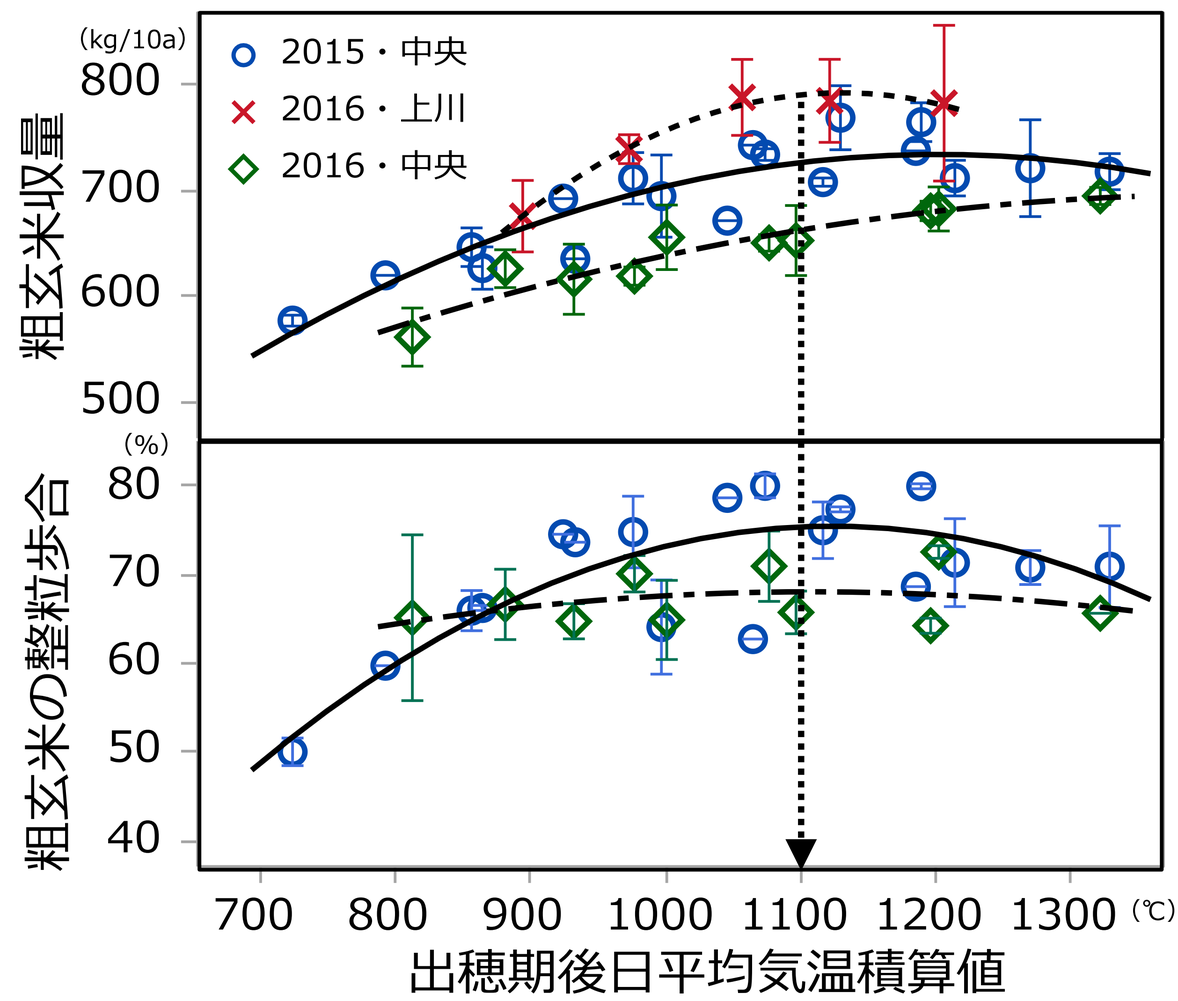
※表中の太字は「そらゆき」専用の基準値。※※栽培管理上の品質目標はタンパク質含有率8.0%以下,整粒歩合80%以上とした。1)成苗10-13cm,中苗10-12cm,葉数は機械移植基準に満たなくても可とする。2)「北海道施肥ガイド2015」に従う。3)幼穂形成期の略記。4)倒伏軽減剤の使用要否を判断する目安として、気象条件や過去の倒伏頻度も考慮する。

成　果 Results



※中央農試・グライ低地土（＊施肥標準量8kgN/10a）
基肥窒素施肥量は全層施肥と側条施肥の合計量

施肥標準量+3kgN/10a前後で収量が最大.
さらに増肥すると減収も!?



収量・品質ともに最大となるのは
出穂期後日平均気温積算値1100℃.

普　及 Dissemination

「そらゆき」の安定生産を目的として、窒素施肥対応等の栽培管理を決定するために活用できます。

多収栽培指針に示されること以外の施肥対応は「北海道施肥ガイド2015」に従うなど、従来の基本技術を併せて励行してください。

連絡先 Contact

中央農業試験場
生産研究部 水田農業グループ
0126-26-1518
central-agri@hro.or.jp